



報道関係各位

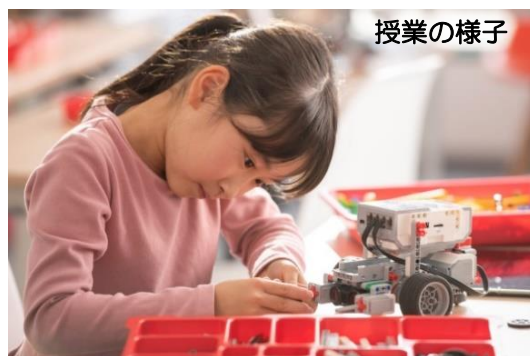
ロボットプログラミング教室「プログラボ」

ytv 動画コンテストを開催

子ども達が成果をまとめた動画を、テレビマンらが審査・講評

～ 優秀賞作品を YouTube に公開 ～

読売テレビ放送株式会社（本社：大阪市中央区、社長：大橋善光）が、阪急阪神ホールディングスグループの株式会社ミマモルメ（本社：大阪市福島区、社長：小坂光彦）と共同で構成する**プログラボ教育事業運営委員会**では、プログラボの生徒が制作したロボットについて、自ら撮影・編集してまとめた動画を対象に、読売テレビ社員らが審査・講評を行う「ytv 動画コンテスト」を開催しました。



授業の様子



プログラボでは、子ども達の「夢を実現するチカラ」を育むため、**レゴ®**を教材とした完全オリジナルの通年カリキュラムを提供しており、授業の一環として、社会で不可欠な“**仲間に伝える表現力**”を重視の上、成果を発表するプレゼンの場も設けています。中でも、デバイスやアプリの普及でより身近になった**動画制作**は、子ども達の自己表現の重要なスキルとして積極的に学びに取り入れており、運営を担う**読売テレビ (ytv)**では、番組制作で培ったノウハウを次世代に還元できればという思いから、今回の開催に至りました。

動画は2020年4月～7月分のカリキュラムで取り組んだロボット競技等を、主に**小学校高学年～中学生**が自ら1分～5分にまとめたものです。随所にミッションが課されたコースを走らせてポイントを競う「**ミドル部門**」、SDGs 課題を施したコースに挑みながら調べ学習を行う「**SDGs 部門**」、テーマそのものから自分で設定して解決・実現するロボットを制作する「**探求部門**」の3部門に分かれ、**全国26教室から150を超える作品**が応募されました。教室審査・エリア審査を通過した作品に対し、①**テーマ設定のユニークさ** ②**そのテーマが十分に伝わる内容** ③**仲間達が「見たい」「参考になる」**など感動する“**共有価値**”という3基準から、読売テレビ社員ら8人で最終審査の結果、**11作品が優秀賞**に輝いています。



優秀賞に選ばれた 11 作品は、下記 URL のプログラボ公式 YouTube チャンネル内で公開しています。

自ら制作したロボットの工夫した点、努力や苦勞などが、どうすれば動画を介して効果的に他人に伝わるのか、試行錯誤を重ねたアピールには、時にテレビマンも目を見張る撮影カットや、編集の構成・テンポ、テロップや音効が駆使されていて、インターネットを中心に日常で動画に触れる機会の多い昨今の子ども達のみずみずしい感性がふんだんに発揮されていました。

◆生徒作品＜動画コンテスト 2020＞

<https://www.youtube.com/watch?v=IPC9yTKf8M0&list=PLgVF8AAEn8UgQkyHICvtfklp1sdR34exl>

プログラボ教育事業運営委員会は、2016 年、「知識・技能」だけでなく「思考力・判断力・表現力」を持ち、「主体性をもって多様な仲間と協働できる」真に社会に求められる人材を輩出したいという思いで、ロボットプログラミング教室「プログラボ」をスタートしました。『私たちは、ロボットプログラミング教育を通じて、未来を担う子ども達の「夢を実現するチカラ」を育みます。』との教育理念の下、2021 年 3 月現在、直営校・フランチャイズ校を合わせ、北海道・関東・関西・九州で 39 校、私立の学校内教室 9 校の計 48 校を運営し、約 4,500 名が在籍しているほか、自治体等へのプログラミング教育の導入支援を行っています。さらに 2021 年 4 月には中部地方にも初進出、東京・名古屋・京都・福岡で新たに 8 校の開校を予定しており、今後もより多くのお子様に学んでいただけるよう、教室を増やしていく方針です。



以 上

〔参考〕ロボットプログラミング教室「プログラボ」の概要

<基本情報>

設立 : 2015 年 12 月 18 日
事業主体 : 2 社 JV 共同事業体（民法上の任意組合）「プログラボ教育事業運営委員会」
出資 : 株式会社ミマモルメ（阪神電気鉄道株式会社 100%出資）55%、
読売テレビ放送株式会社 45%
代表者 : 株式会社ミマモルメ
（教育事業としてプログラボに取り組むほか、
子どもの見守りサービス「ミマモルメ」等を提供する、あんしん事業を展開）
公式サイト : <https://www.proglab.education/>

1 教育理念 私たちは、ロボット・プログラミング教育を通じて、未来を担う子ども達の「夢を実現するチカラ」を育みます。

～「夢を実現するチカラ」とは～

①学びに対する喜び・意欲

知識と論理的な思考方法を身につけ、それを実践することで、学ぶ喜びを体感し、意欲的に学ぶ姿勢、問題解決力を養います。

②視野や興味の幅を広げ、それを深く追求する心

身のまわりのさまざまな物事に興味を持つ好奇心と、興味を持った物事に対して深く掘り下げる探究心を育みます。

③自らの力でやり抜く精神

失敗を恐れず、試行錯誤を重ね、主体性と最後までやり抜く力を育てます。

2 対象者 幼稚園年長～中学生

3 内 容 主に教育版レゴ®マインドストーム®EV3 を用いて、モーターや各種センサーを使ってロボットを組み立て、ビジュアルアイコンを使ったソフトウェアでプログラミングを行います。

4 料金体系 入会金、教材費は不要（ロボット一人1台）

コース	対象	授業時間	月額料金
ビギナー	年長～小学2年生	50分×月3回	10,780 円 (税抜価格 9,800 円)
スタンダードⅠ	小学1～3年生		
スタンダードⅡ	小学3年生～中学生	90分×月3回	13,750 円 (税抜価格 12,500 円)
アドバンスⅠ	スタンダードⅡ修了者		
アドバンスⅡ	アドバンスⅠ修了者		14,850 円 (税抜価格 13,500 円)
アドバンスⅢ	アドバンスⅡ修了者		
エクスプローラ	アドバンスⅢ修了者		

5 実 績

(1) 教室授業

2016 年 4 月に夙川校（兵庫）および野田阪神校（大阪）からスタートし、当初は関西での直営教室を中心に開校を進めました。2018 年 4 月には JR 中央ラインモール（JR 東日本 100% 出資会社）や東京メトロと業務提携し東京進出、さらに 2020 年 4 月には JR 九州システムソリューションズ（JR 九州出資会社）と提携して九州でも開校し、全国に拡大しています。

(2) 出張授業・校内教室

2016 年度から公立・私立の小学校を中心に、のべ 100 校を超える学校で出張授業を実施してきました。私立小学校では放課後の学内での習い事としても導入されており、雲雀丘学園小学校（兵庫）をはじめ 9 校の校内教室を運営しています。

(3) 自治体でのプログラミング教育導入支援

大阪・交野市の全公立小中学校でプログラミング教育導入の準備を支援しています。これは 2020 年度からのプログラミング教育の必修化に対応するため、新学習指導要領に基づく年間指導計画の立案や、それに沿ったプログラミング教育支援を行うものです。また、大阪市においても 2017、18 年度の 2 年間「プログラミング教育推進事業」の協力会社の一社に選定され、小学校での出張授業を行ってきました。

(4) 大会

ロボットプログラミング教育の裾野を広げていくために、自律型ロボットによる世界的なロボットコンテスト「WRO」にも参画しています。WRO とは World Robot Olympiad（ワールド・ロボット・オリンピック）の略で、2004 年のシンガポール大会から始まり、2019 年に兵庫・西宮市の関西学院大学で行われた第 16 回の日本決勝大会はプログラボが運営を担いました。全国各地の予選を勝ち抜いた 150 チームのうち、プログラボから 17 チームが出場し、中でも 2 チームは日本代表に選抜。ハンガリーで開催された国際大会へ進出した結果、オープンカテゴリー（中学生の部）で世界 7 位入賞、エキスパート競技（中学生の部）で 14 位を果たしています。

(5) 新カリキュラム導入

子ども達の「夢を実現するチカラ」を育むことを目的に、より幅広い STEAM 教育の実践に取り組むため、ロボットプログラミング教育を核に据えながら、新たなカリキュラムの導入も進めています。読売新聞大阪本社「新聞のちから」委員会との協業による、新聞を教材に記者らが講師を務める「ロジカルリーディング・ライティング講座」や、株式会社スマートエデュケーションと協業する ICT を活用した低年齢向けのものづくり講座「プログラボクリエイターズ」などを既に実施中で、2021 年 4 月には新たに、スキルアップ AI 株式会社と協業し、中高生のための AI 開発講座「AI ラボ」も開講予定です。

教室の名称「プログラボ」の由来

「プログラミング (Programming)」と、目標に向かって進むことを意味する「プログレス (Progress)」、そして、実験室や研究室を意味する「ラボラトリー (Laboratory)」を掛け合わせ、夢を持つ仲間が集い、切磋琢磨する場を創っていきたいという気持ちで名付けました。